

# 2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14301	科名 ファッショングッズ基礎科1年	単位 4単位
科目コード 300500	科目名 アイテム演習 帽子	授業期間 通年

担当教員(代表) : 菅原由美	共同担当者 : 板野景子
-----------------	--------------

**概要** (教育目標・レベル設定など 200字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)  
 各部の名称、形と素材の種類、頭蓋型や採寸方法など帽子の一般知識を習得し、素材の特徴に合ったデザインの発想、トリング(装飾)など、全体のバランスを考える。  
 ブレード、夏物帽体、冬物帽体、コットン芯など帽子専門の材料の特徴を理解し、木型や専門道具を使用して制作。  
 基礎作図・基礎作図からの展開方法、仮縫い、縫製方法、生地や芯の扱い方を理解し布帛の帽子を制作。

【授業計画】			
コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション	16	仮縫い、裁断・縫製
2	帽子の基礎縫い	17	
3	ブレード帽子(基礎巻き)	18	
4	夏物帽体帽子の制作	19	↓仕上げ・提出
5		20	冬物帽体(フェルト帽体)帽子の制作
6	仕上げ・提出	21	
7	ベレー基礎作図	22	
8	布帛ベレーの制作	23	↓仕上げ・提出
9		24	カクテルハットの制作
10		25	
11	↓仕上げ・提出	26	
12	クロッシュ基礎作図(クラウン)	27	
13	(プリム)	28	↓仕上げ・提出
14	布帛クロッシュの制作	29	学年末試験の説明・作品発表
15	↓仮縫い		

評価方法・対象・比重	テーマ別作品評価・期末試験:出欠・授業姿勢	8:2
------------	-----------------------	-----

主要教材図書	ファッション工芸講座 帽子
参考図書	The HAT magazine
その他資料	

授業の特徴と担当教員紹介
企業にて素材選びから縫製までをとおして帽子作りを行い、その活動経験をもとに、帽子各部の名称、形と素材の種類、頭蓋型や採寸方法などの一般知識を習得し、素材の特徴を活かしたデザイン発想、装飾や全体のバランスを考える。ブレード、夏(冬)物帽体、コットン芯など帽子専門の材料の特徴を理解し、木型・専門道具を使用して制作。基礎作図、展開方法、仮縫い、縫製方法、生地や芯の扱い方を理解し布帛の帽子を制作する授業を実施

記載者氏名 菅原 由美
-------------

# 2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14301	科名 ファッショングッズ基礎科1年	単位 4単位
科目コード 300600	科目名 アイテム演習 ジュエリー	授業期間 通年

担当教員(代表) : 大工原 瞳	共同担当者 :
------------------	---------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・ ジュエリー・アクセサリー商品の基礎知識の習得。
- ・ ジュエリー制作における金属素材の扱いと基礎的技法の習得。
- ・ ジュエリー制作における用具の扱い方を制作実習にて習得する。
- ・ ジュエリー・アクセサリー商品取り扱い店舗（高級店舗、低価格店舗、繁盛店舗、注目店舗）における市場調査による商品研究。

## 【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. 工具、器機についての説明 1コマ
  - ・工具の説明
  - ・工具の使用法、持ち方、姿勢について
2. 使用素材についての説明 1コマ
  - ・銀について
  - ・ワックスについて
  - ・指輪について
3. ストワックスによる指輪の制作
  - ・チューブワックスの扱い方、ヤスリ方、仕上げ方
  - ・銀の磨き、仕上げ方、
  - ・リング商品論

①月型甲丸	4 × 2コマ
②自由デザイン	5 × 2コマ
③リングの研磨	2 × 2コマ
4. 夏期休暇課題
  - ショップリサーチ
  - 繁盛店舗、注目店舗のリサーチ、比較
5. 平打ちリングの制作、すり出しリングへの展開 ◎「ヤスリ」の扱いをマスターする
  - 銀の扱いについて、金属の加工法
  - ・バーナーによる作業
  - ・銀のヤスリ方、仕上げ法

① 平打ちリング	2 × 2コマ
② すり出しリング	4 × 2コマ
6. 切りまわし『透かし』の技法によるアクセサリーの制作 5 × 2コマ
  - (ペンダント、ブローチ、ブレスレット)
  - ◎糸ノコの扱いをマスターする

糸ノコ作業による各種金属素材の違いを学習

アルミニウム板、銅板、真鍮板 →各素材の扱いについて

・各素材の結合方法 →リベット、カシメ
7. 銀によるネームプレートの制作 6 × 2コマ
  - ・銀による切りまわし及び、ロウ付け方法の習得、
  - バチカン等の制作法、
  - ペンダント、ネックレス商品論
8. ジュエリーに関する商品知識ほか
9. 講評会 2コマ

## 【評価方法】

S～C・F評価 学業評価 80% 、 授業姿勢 20%

主要教材図書 なし

参考図書

その他資料

記載者氏名 大工原 瞳

# 2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部 1

科コード 14301 科名 ファッショングッズ基礎科1年	単位 4 単位
科目コード 300700 科目名 アイテム演習 バッグ	授業期間 通年

担当教員(代表) : 青木 克江	共同担当者 :
------------------	---------

## 教育目標・レベル設定など

- ・ バッグの基礎知識と製作技術の習得
- ・ 皮革素材の基礎技法の習得

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

### ●バッグ基礎知識 【2コマ】

- ・ 年間授業内容、製作物説明、用具の説明、バッグの機能・構造について講義

### ●曲げマチバッグの製作 【14コマ】

- ・ 基礎型出し 曲げまち
- ・ 製作 (デザイン、型出し、型紙、裁断、縫製、仕上げ)

### ●基礎縫い制作 【10コマ】

- ・ バックル、ナスカン付きショルダーベルト ・ カシメ、ハトメ、ホック付きブレスレット
- ・ ファスナー付きポーチ ・ ファスナーポケット部分縫い

### ●レポート 【夏期休暇課題】

バッグを販売しているショップをリサーチし、レポート提出

### ●ファスナー付き革の縫い返しバッグの製作 【30コマ】

- ・ デザイン、機能、構造について講義
- ・ 基礎型出し (横まち・通しまち・小判底)
- ・ 基礎縫い (革の扱い方、裁断、革すき)
- ・ 製作 (デザイン、型出し、型紙、裁断、革すき、縫製、仕上げ、発表)

## 評価方法・対象・比重

S～C～F評価

評価基準：学業評価 80% (提出物 50%、試験 30%) 授業姿勢 20%

## 主要教材図書

文化ファッション大系ファッション工芸講座③バッグ

## 参考図書

## その他資料

記載者書名欄 青木 克江

# 2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14301	科名 ファッショングッズ基礎科1年	単位 4単位
科目コード 300800	科目名 アイテム演習 シューズ	授業期間 通年

担当教員(代表) : 田中 美登里	共同担当者 :
-------------------	---------

## 概要 (教育目標・レベル設定など)

- ・ 基本デザイン（モカシン・パンプス）の制作及び設計技術の基礎を習得する。
- ・ 用具、製靴用機械の取扱い方法を実習にて習得する
- ・ 履物の起源及び歴史、靴の構造、足の構造の概論を学ぶ

## 【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

### 1. 靴の歴史について (教科書・資料を用いての講義)

エジプト時代～現代までの歴史

日本の靴作りの歴史について

### 2. 靴の一般知識 (教科書・資料を用いての講義)

靴の構造と各部の名称

製法と特徴について

### 3. 足について (教科書・資料を用いての講義)

足型計測により各自の足のサイズを知る

足の構造・病気について

### 4. 基礎技術の習得

工具作り(皮革用包丁の研ぎ方、扱い方等)

ミシンの扱い方と調整方法、手入れ方法

皮革の手漉き加工方法 等

### 5. モカシン制作

各自のサイズで既存のパターンを使用し各自アレンジを加えてオリジナルデザインの作品を制作

裁断、製甲、底つけ(圧着機・グラインダー等の工作機械を使用)の作業を実習

### 6. パンプス制作

既存のパターンを使用し各自アレンジを加えてオリジナルデザインの作品を制作

裁断、製甲、釣り込み、底つけ(圧着機・グラインダー等の工作機械を使用)の作業を

実習の作業を実習

## 評価方法・対象・比重

学業評価・年度末試験 80% · 授業姿勢 20%

## 主要教材図書

ファッショングッズ基礎科1年

## 参考図書 なし

## その他資料 パターンサンプル、アップーサンプルなど

記載者書名欄 田中美登里

# 2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14301	科 名 ファッショングッズ基礎科1年	単 位 2 単位
科目コード 950010	科目名 自由研究 I	授業期間 通年

担当教員(代表) : 青木 克江

共同担当者 :

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

各課題や個人の自由実習。

通常授業以外の制作をすることによる、各個人のレベルアップ。

## 【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

### 1、ブランド研究

長期休暇時の課題として、各自好きなブランドの企業について調べ、研究し、レポート提出。

### 2、バザー作品制作

文化祭バザー作品のグループ制作。

### 3、各種コンテスト参加

ザッカコンペティション、学内コンテストなど。

### 4、美術館、博物館見学

見学、感想レポート提出。

## 【評価方法】

履修認定(P表示)

評価基準: 学業姿勢・出欠状況を元に履修認定の是非を決定する

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 青木 克江

# 2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14301	科名 ファッショングッズ基礎科1年	単位	2単位
科目コード 305010	科目名 ハンディクラフト I	授業期間	通年

担当教員(代表)：白戸 薫

共同担当者：

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

各種のクラフトテクニックを、エンブロイダリーと布の加工に大別し、基礎的なテクニックを幅広く学習する。特に、帽子・バッグ・シューズ・アクセサリー等のグッズ制作に、応用することをイメージしながら実習させる。併せて、学習したテクニックが使われている実際の商品などの資料を集め、ブックの形式で完成させる。それにより、テクニックだけにとらわれない応用性を身につけさせる。

授業計画＝テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

## \*エンブロイダリー

- ・カラーエンブロイダリー 刺しゅうの中で、代表的な色糸刺しゅうの基本的なステッチの実習
- ・ステッチの応用 ボリュームのあるステッチの実習 より多種多様なステッチの習得
- ・キャンバスワーク 基本的なステッチを用いながら、織り糸を数えて刺すテクニックの実習
- ・コードエンブロイダリー 紐状のものを布に止め付けていくテクニックの実習
- ・ビーズ/スパングルエンブロイダリー 服飾素材の扱い方の基本テクニックの実習
- ・ミラーワーク ミラーの止め付け方のテクニックの実習
- ・ビーズ/スパングルエンブロイダリーの応用 オリジナルの図案をデザインしモチーフを制作

## \*布の加工

- ・スマッキング ベーシックスマッキングのうち柄布(ギンガム)を使ったテクニックの実習
- ・カットワーク 布にステッチをして切り抜き、透かし模様を表現するテクニックの実習
- ・フリル/ギャザー/ヨーヨー ファブリック マニュピュレイティング(布加工)の代表的なテクニックの実習
- ・ドロンワーク 糸抜きした部分にかぎりを入れ、透かし模様を表現するテクニックの実習
- ・リボンワーク 幅広いテープ状のものを装飾的に加工するテクニックの実習
- ・ラティススマッキング 布を裏面からつまむことによる陰影の表現のテクニックの実習
- ・キルティング 布を部分的にふくらませて、レリーフ状に加工するテクニックの実習  
イタリアンキルティング/イングリッシュキルティング

## \*レース

- ・マクラメ 紐やコードを手で結んで模様を表現するテクニックの実習

\*応用作品 オリジナルの図案をデザインし、それに合った材料や技法の選び方の総合学習

\*ブックの制作 学習した技法の総括として、資料と共に構成する

## 評価方法・対象・比重

制作物の評価にブックの採点をプラス

主要教材図書 文化ファッション講座 工芸2 手芸

参考図書

その他資料 各種技法サンプル 講師作成プリント類

## 授業の特徴と担当教員紹介

ニット企業でのニットデザイナーを経て、フリーでハンディクラフトを生かした作品制作(キッズニット・編みぐるみ・バッグ・ニット帽など小物からインテリアグッズまで)・雑誌等の活動経験をもとに、クラフトテクニックをエンブロイダリーと布の加工に大別し、基礎テクニックを幅広く習得する。帽子・バッグ・シューズ・アクセサリー等のグッズ制作に応用することをイメージしながら実習する授業を実施

記載者氏名 白戸 薫

# 2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14301	科名 ファッショングッズ基礎科1年	単位 2単位
科目コード 500500	科目名 造形演習	授業期間 通年

担当教員(代表)： 北川 陽史	共同担当者：
-----------------	--------

## 教育目標・レベル設定など

ファッショングッズの各専門分野において必要とされる造形感覚、審美眼の育成と造形・デザインの展開とその方法論の享受を教育目標とする。一般的な造形・デザインに対しての基本的理解と造形能力を高めるために重要な理論的解説、また、造形言語と呼ばれる表現要素の認識とその利用方法の理解と探求を通じ、独自の表現に昇華する事を目標とする。

## 【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

授業は造形作品の制作実習(主に平面上での表現)を中心に展開される。

各項目(テーマ)に対し前提講議を行い、造形理論と制作の方法論を解説する。

制作実習、作品講評を通して造形に対する基本的な理解と展開方法の具体例を解説・アドバイスすることで、

学生個々の造形感覚の拡張を目指す。

- |              |  |
|--------------|--|
| 1 概論 (講義)    | 造形を主体とした発想とその展開について視覚心理的見解(錯視)も含め解説(1コマ)   |
| 2 イメージ構成     | イメージを形態と構成によって単純な造形として平画面に落とし込む。<br>画面内に「動感」を形成。モノクロ平面構成による構成力の育成(3コマ)                     |
| 3 偶発性と造形要素抽出 | 様々な描画技法(デカルコマニー、フロッタージュ等)を用い、<br>偶発的に生まれる効果を画面構成の要素として採取し編集する。<br>各種画材、アクリル(黒のみ)と各種用紙(4コマ) |
| 4 平面上での立体的表現 | 平面上における空間感覚の理解。<br>レリーフの作成、及び色彩表現。(5コマ)  |
| 5 光とその表現     | 物質と光の関係性を理解し、デザイン表現を行う。<br>「光」を多角的に捉え、表現する。平面構成等(3コマ)                                      |
| 6 手に馴染む形     | 抽象概念の理解と彫刻的技法の理解。<br>イメージ・感覚を抽象化された有機的な形で表現する。(4コマ)  |
| 7 表層のデザイン    | 触覚チャートの作成を行う。<br>素材の理解と、その表層に現れる質感の理解。(4コマ)  |
| 8 100枚ドローイング | ドローイングから、自己分析、自己表現を行う。<br>無意識的に表現されたドローイングを客観的に解釈し、そこから表現を重ねていく。<br>(4コマ)                  |

## 評価方法・対象・比重

### S~C・F評価

評価基準：学業評価 60%、授業姿勢 40%

制作実習における成果物を評価基準の対象のひとつとする。基礎造形の理解度と表現性を評価の基準とし、それに加え、独創性、独自の表現に通じる可能性の感じられるものを高く評価する。

制作実習時の姿勢は勿論、出席状況、制作終了後の清掃なども制作プロセスの一部と捉え、採点に加味し、総合的に評価する。

主要教材図書	特になし
--------	------

参考図書	Visual design(平面・色彩・立体構成) 1 (改訂新版) 日本グラフィックデザイナー協会／六耀社
------	--

その他資料	特になし
-------	------

記載者書名欄	北川 陽史
--------	-------

# 2019度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部 1

科コード 14301	科 名 ファッショングッズ基礎科1年	単 位	2 単位
科目コード 501800	科目名 色彩論・演習	授業期間	通年

担当教員(代表) : 天野豊久	共同担当者 :
-----------------	---------

## 教育目標・レベル設定など

ファッション分野のクリエイションで色彩を活用することを想定し、基本的な配色方法を中心に色彩の基礎を学習する。

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、  
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

1. 導入 色について	〈講義 1 コマ〉
2. 色の三属性 色の三属性(色相・明度・彩度) 等色相面／色立体 Hue & Tone システム	〈講義および演習 6 コマ〉
3. 配色の基礎 色相を基準とした配色／トーンを基準とした配色 無彩色の配色 配色(色彩構成)の考え方 ベースカラー／アソートカラー／アクセントカラー／セパレーションカラー シンメトリー／アシンメトリー／レビテーション／グラデーション	〈講義および演習 8 コマ〉
4. 色彩心理 色彩の感情効果／連想／イメージ 色の見え 対比現象／同化現象 膨張性／進出性	〈講義および演習 5 コマ〉
5. 色彩理論 光、眼と色 三原色と混色	〈講義 2 コマ〉
6. ファッションカラーコーディネーション ファッションカラーコーディネーション トーン・オン・トーン／フォ・カマイユ／トーン・イン・トーン／トナル	〈講義および演習 3 コマ〉
7. 配色の展開 ・絵画の配色分析と配色への展開 ・色相の移調／トーンの移調	〈講義および演習 5 コマ〉

## 評価方法・対象・比重

S・A～C・F評価 評価基準: 学業評価 70% 授業姿勢 30%

主要教材図書 『ファッション色彩 I』(文化出版局)
参考図書 特になし
その他資料 Color Chart、ベーシックカラー140

授業の特徴と担当教員紹介 色の知識や実用的な活用術のコンサルタント経験をもとに、ファッション分野のクリエイションで色彩を活用することを想定し、基本的な配色方法を中心に色彩の基礎を学習する
--

記載者書名欄 天野豊久

# 2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14301	科名 ファッショングッズ基礎科1年	単位 2単位
科目コード 500210	科目名 デッサンI	授業期間 通年

担当教員(代表) : 柳澤 利光	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します) 様々なものの見方を通じ、ものを見て描く事・表現につながる描写と楽しさを再認識する事と合わせ、個性を伸ばす為の基本描写能力・表現能力の習得を目的とする。
--

【授業計画】			
コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション: 透明な立方体と円柱の造形描写。	16	静物デッサンIII③: 複雑な組み合わせモチーフを描く。
2	静物デッサンI①: 立方体のデッサン。	17	花のデッサンと着彩: 花を描く。細密描写と淡彩表現。
3	静物デッサンI②: 立方体のデッサン。	18	バックのデッサン: 革製バックを描く。
4	静物デッサンI③: 立方体のデッサン。	19	石膏デッサン①: 頭部石膏像を描く。シンプルな造形把握。
5	靴のデッサン: エナメルパンプスを描く。ツルツル質感。	20	石膏デッサン②: 頭部石膏像を描く。シンプルな造形把握。
6	帽子のデッサン: 布製の帽子を描く。	21	小物を描く: 講師用意のモチーフから好きな物を描く。
7	金属のデッサン: 真鍮リングを描く。	22	バックの着彩: 革製バックを描く。白黒と有彩の置き換え。
8	静物デッサンII①: 簡単な組み合わせモチーフを描く。	23	多面体ガラスのデッサン: 実物と写真利用の利点・欠点。
9	静物デッサンII②: 簡単な組み合わせモチーフを描く。	24	静物デッサンIV①: 複雑な組み合わせモチーフを描く。
10	静物デッサンII③: 簡単な組み合わせモチーフを描く。	25	静物デッサンIV②: 複雑な組み合わせモチーフを描く。
11	靴の着彩: エナメルパンプスを描く。白黒と有彩の置き換え。	26	静物デッサンIV③: 複雑な組み合わせモチーフを描く。
12	帽子の着彩: 布製の帽子を描く。白黒と有彩の置き換え。	27	手を描く: シンプルな手の描写。
13	パールのデッサン: 拡大と実物大で樹脂パールを描く。	28	まとめ: ファーボールを描く・アンケート。
14	静物デッサンIII①: 複雑な組み合わせモチーフを描く。		
15	静物デッサンIII②: 複雑な組み合わせモチーフを描く。		

評価方法・対象・比重 S~C・F評価。学年末試験・授業作品の学業評価80%、授業姿勢20%。
---

主要教材図書 無し
-----------

参考図書 無し
---------

その他資料 講師用意のプリント・スライド用画像と動画。
-----------------------------

記載者氏名 柳澤 利光
-------------

# 2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14301	科 名 ファッショングッズ基礎科1年	単 位	2 単位
科目コード 500800	科目名 ファッショングッズ基礎科1年	授業期間	通年

担当教員(代表) : 坂本 真由美	共同担当者 :
-------------------	---------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・衣服のイメージ、バランスを読み取る力・表現する力を習得する。
- ・衣服の構造、縫製を理解しデザイン画として表現し共有することができる。
- ・ファッショングッズを引き立てる着装画としての表現力

## 【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

(全29コマ)

### I. 8頭身プロポーション (1コマ)

- ・ファッショングッズの必要性、8頭身プロポーションを理解する

### II. 手、顔などのパーツのプロポーション (1コマ)

- ・人物の細かいパーツの表現方法について

### III. 人物ポーズ (2コマ)

- ・正面、斜めから見たポーズの描き方について

### IV. 着装表現 (5コマ)

- ・身体と衣服の関係を理解し、線画での表現力を身につける

- ・立体を把握しアウトラインで表現する

### V. ファッショングッズを描く (2コマ)

- ・ファッショングッズのフォルムや質感を練習

### VI. 透明水彩絵具の使用方法、混色 (2コマ)

- ・透明水彩絵具の基礎的な使い方やデザイン画を仕上げるプロセスについて理解する

### VII. 布によるひだのフォルム (3コマ)

- ・プリーツ、フレア、ギャザーなどのひだの構造と表現方法を理解しデザイン発想

### VIII. 素材表現 (3コマ)

- ・多様なアパレル素材を水彩絵の具を用いて表現する方法を習得する

### IX. 修了制作 (5コマ)

- ・校内ファッショングッズ基礎科1年

- ・応募規定に基づき、これまで習得した技術や表現力をA3イラストボードにまとめる

### X. 着装画+ファッショングッズ (3コマ)

- ・衣服とグッズのトータルコーディネートをデザイン発想し表現する

## 【評価方法】

S～C・F評価／評価基準：学業評価80%、授業姿勢20%

主要教材図書 文化ファッショングッズ基礎科1年

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者氏名 坂本真由美

# 2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14301	科名 ファッショングッズ基礎科1年	単位 1単位
科目コード 504010	科目名 グラフィックワーク I	授業期間 後期

担当教員(代表) : 飯塚 有葉	共同担当者 :
------------------	---------

教育目標・レベル設定など Photoshop・Illustrator 初心者を対象とし、Photoshop では、画像の切り抜き・合成ができるようになることを目標とする。Illustrator では、マップのレイアウトデザインができるようになることを目標とする。
--

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、
1. Photoshop の基本操作 : 講義・実習 4コマ ①移動ツールの使い方 ②ブラシツールの使い方 ③レイヤーマスクを使った切り抜き ④画像合成
2. 画像合成・ファイル表紙のデザイン : 講義・実習 3コマ ①画像の収集 ②切り抜き・画像合成 ③文字入力
3. Illustrator 基本操作 : 講義・実習 3コマ ①基本図形の描き方 ②色の設定方法 ③整列・画像の配置 ④クリッピングマスク ⑤スウォッチ・ブラシ
4. デザインマップの作成 : 講義・実習 4コマ ①テーマの設定 ②画像の切り抜き ③レイアウトデザイン

評価方法・対象・比重 学業評価 60%、授業姿勢 40%
---------------------------------

主要教材図書 プリント
参考図書
その他資料 使用ソフト Adobe Photoshop CC2018/Adobe Illustrator CC2018

記載者書名欄 飯塚 有葉
--------------

# 2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14301	科名 ファッショングッズ基礎科1年	単位 2単位
科目コード 001500	科目名 服飾造形	授業期間 前期

担当教員(代表) : 濵谷 摩耶 共同担当者 :

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

服飾造形としての一般知識、原型の理解、縫製の基礎を理解させる。

シャツ・ブラウスの衣服制作をとおして衣服構造を理解し、ファッショングッズとのコーディネートも関連させ指導する。  
服飾造形の基礎、シャツ・ブラウスの基礎知識、縫製

## 【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

## 前期 2 単位

1. 服飾造形の基礎 …… 4コマ

- ・ 服飾造形概説 変遷、衣服について、衣服製作のプロセス ・衣服製作のための用具 服飾造形で使用用具の説明
- ・ 縫合の基礎 手縫い、ミシン・ロックミシン縫い ・下着の重要性 ・シルエッター写真撮影
- ・ 採寸 衣服製作のための人体計測
- ・ 文化式婦人原型(9AR)の作図法 1／4及び実物作図、男子原型の説明

※部分縫い 基礎縫い(手縫い)

2. シャツ・ブラウス(前期) …… 22コマ

- ・ 一般知識 語源、歴史、分類、名称、素材、デザイン解説
- ・ 作図 各デザインの作図解説 スローパートレースまたはスローパーからの展開
- ・ パターンメーキング 縫い代つき
- ・ 裁断 春夏向き素材(綿、麻)、各裁断方法、付属布裁断(芯など)
- ・ 縫合 基本縫合解説、各自デザイン別縫合解説  
着装、レポート提出

評価方法・対象・比重

評価基準: 学業評価80%、授業姿勢20%

※学業評価=平常成績(授業内での応答、課題作品・レポート・実技の評価)など

授業姿勢=出席状況、授業内提出状況など

## 主要教材図書

参考図書 ・文化ファッション大系 服飾造形講座①「服飾造形の基礎」、③「ブラウス・ワンピース」

その他資料 実物資料

記載者氏名 濵谷 摩耶

# 2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14301	科名 ファッショングッズ基礎科1年	単位 1単位
科目コード 400300	科目名 服装解剖学	授業期間 後期

担当教員(代表) : 足立美智子	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)  
 人体の形態や構造を解剖学的に認識させ、人体を機能的で美的に表現できるファッショングッズ造りを目的とする。  
 全身のプロポーションを理解し、ファッショングッズ製作に生かすための計測法の説明を行い、機能面からデザイン発想まで結びつけられるように学習させる。

## 【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション(講義内容の説明)	16	
2	人体の構成(人体の骨格)	17	
3	人体の構成(頭部と帽子)	18	
4	人体の構成(頭部と帽子)	19	
5	人体の構成(脊柱)	20	
6	人体の構成(胸郭)	21	
7	人体の構成(上肢帯と自由上肢骨)	22	
8	人体の構成(自由上肢骨)	23	
9	人体の構成(手骨・下肢帯)	24	
10	人体の構成(下肢帯と自由下肢骨・足部とシューズ)	25	
11	人体の構成(足部とシューズ・乳房)	26	
12	人体の構成(乳房)	27	
13	人体の外観とファッショングッズ(人体の計測)	28	
14	人体の計測(プロポーション・デザイン発想のための計測)	29	
15		30	

## 評価方法・対象・比重

ノート提出・出欠状況…50%、確認テスト…25%、骨と原型についてのプリント…25%

主要教材図書 服装解剖学ノート(文化出版局)

参考図書 頭骨の文化史(フォルケ・ヘンシェン著 鈴木誠・高橋譲訳 築地書館)

その他資料 なし

記載者氏名 足立美智子

# 2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14301	科名 ファッショングッズ基礎科1年	単位	1単位
科目コード 202000	科目名 素材論	授業期間	半期（後期、15コマ）

担当教員(代表)：山田とし子	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

繊維素材（各種繊維・糸・布地・染色加工）の種類・性質について基礎的な知識を習得させる。さらに繊維素材製品の展開などにも関連させ知識を深めることを教育の目標とする。

## 【授業計画】

テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

### 1. 概論（1コマ）<講義>

- ・布の成り立ち、繊維—糸—布のかかわりと特徴

### 2. 繊維（4コマ）<講義、実習>

- ・繊維とは
- ・繊維の種類と分類、成分と構造、性質
- ・纖度と纖維長

\*実習      • 繊維の鑑別（顕微鏡法、呈色法）      • 耐薬品性

### 3. 糸（4コマ）<講義、実習>

- ・繊維から糸製造
- ・糸の種類と構造、性質
- ・糸の太さと表示

\*実習      • 糸の構造と太さ（スパンヤーンとフィラメントヤーン）      • 毛紡績の分類（梳毛と紡毛）  
 • 撥り数（甘撚糸～強撚糸）と布地

### 4. 布地（5コマ）<講義、実習>

- ・織物、編地、レースなどの種類と性質
- ・繊維別布地解説
- ・先染め、後染めの種類と効果
- ・風合い表現

\*実習      • 織、編地の分類      • 組織の理解（三原組織ほか）  
 • 先染と後染の区別と色柄効果

### 5. 加工（1コマ）<講義>

- ・加工の目的と種類

評価方法・対象・比重：期末試験（50%）課題提出物（40%）出欠・授業状況（10%）による総合評価

主要教材図書：文化ファッション大系改訂版・服飾関連専門講座③「アパレル素材論」文化服装学院編文化出版局

参考図書：「ワークブック—アパレル素材論—」文化服装学院教科書出版部

その他資料：「テキスタイルファブリック」文化学園事業局

記載者氏名 山田とし子

# 2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14301	科名 ファッショングッズ基礎科1年	単位 1単位
科目コード 600100	科目名 ファッショニングビジネス概論	授業期間 後期

担当教員(代表) : 澤住 優子

共同担当者 : 澤谷 目童

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

- ・ファッショニングビジネスの基礎知識の理解
- ・ファッショニング産業構造の把握と専門業務の把握による職種選択のための対応

## 【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

### I. ファッショニングとビジネス (2コマ)

1. オリエンテーション 衣服とファッショニングの関係
2. ファッショニングの範囲と流行の把握

### II. ファッショニングビジネスの特性 (4コマ)

1. ファッショニングの構成メンバー ファッショニング企業の分類
2. ファッショニングビジネスの変遷 戦後の社会経済とファッショニング消費の変遷  
現代のキーワード
3. 現代のファッショニングキーワード

### III. ファッショニング産業の構造 (3コマ)

1. テキスタイル産業の構造 テキスタイル業界と産地
2. アパレル産業の構造について アパレル業界とアパレルメーカー
3. 小売業の構造について リテール業界と新業態

### IV. ファッショニングビジネスの実務 (3コマ)

1. アパレル企業の業務と職種について
2. ファッショニング小売業の業務と職種 ファッショニング販売と顧客の購買行動
3. マーケティングの基礎知識

### V. まとめ (2コマ)

1. ファッショニング産業今後の課題
2. 最新ファッショニングキーワード

※すべて講義

#### 評価方法・対象・比重

テキスト提出 30% 出席日数 70%

主要教材図書 ファッショニングビジネス概論用プリント

参考図書 日経、織研新聞、繊維白書など

その他資料 教材専用プリント類

記載者氏名 澤住 優子

# 2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14301	科名 ファッショングッズ基礎科1年	単位 1単位
科目コード 004800	科目名 クリエイション演習	授業期間 1年間(14コマ)

担当教員(代表)：  
加瀬浩嗣

共同担当者：

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

デザインの基本を踏まえながら、学生の創造力・発想力を豊かにしていく。年間を通して平面～立体～空間と、考える領域を変化させて授業を展開していく。個人作業とグループワークを織り交ぜ、現代社会での重要性が増しているコミュニケーション能力も鍛えていく。

授業計画＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、  
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- 1 デザインの発想方法
- 2 描写の発想方法
- 3 色彩の表現方法
- 4 混色の作業
- 5 構成のバランスを学び、実践で鍛える
- 6 前期講評会
- 7 プレゼンテーションというもの～Presentation1
- 8 アーチストを知る、人に伝える
- 9 リ・デザインをする～先入観を取り払い、新たに作品を構築する
- 10 作品講評会
- 11 たまごを想像する「WHAT'S EGG」
- 12 作成した作品を各自プレゼンする
- 13 BOXの中身を想像する「BOX/BOX」
- 14 後期総合講評会～まとめ～

## 評価方法・対象・比重

評価基準：学業評価 50%、授業姿勢 50%

授業によって個人やグループワーク、 授業時間内で仕上げる作品を基本に考えている。

そして各々の作品発表ができる講評会を設けてる。

主要教材図書 なし

参考図書 課題ごとに持参する

その他資料 プリント資料を配布

## 授業の特徴と担当教員紹介

商品のパッケージデザイン、広告デザイン、空間デザインなど様々な企業のデザインを手掛けてきた活動経験をもとに、デザインの基本を踏まえながら、平面～立体～空間と考える領域を変化させて授業を展開していき、学生の創造力・発想力を豊かにしていく授業を実施。個人作業とグループワークを織り交ぜ、コミュニケーション能力も鍛えていく

記載者氏名 加瀬浩嗣

# 2019度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14301	科名 ファッショングッズ基礎科1年	単位 2単位
科目コード 980010	科目名 特別講義 I	授業期間 通年

担当教員(代表) : 青木 克江	共同担当者 :
------------------	---------

## 教育目標・レベル設定など

専門科目、通常科目の他に学外の専門講師による講義や、他分野の講師による講義を通し、幅広い知識を得て視野を広げる。同時に個々の目的とする職能を確認し位置づける。

授業計画=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- ・コレクション情報 (ファッショングッズの動向と最新コレクションの解説) 講義 1コマ
- ・皮革について (皮革の種類や革が出来上がるまで) 講義 2コマ
- ・心理学 (コミュニケーション能力開発) 講義 2コマ
- ・VMDについて (ファッショングッズ商品のプレゼンテーション方法) 講義・実習・講評会 5コマ
- ・流行色解説 講義 1コマ
- ・仕事とは? (キャリア開発) 講義・実習 6コマ
- ・ファッショングッズデザイナーについて (学生時代にするべき事) 講義 1コマ
- ・カメラワーク (作品集制作のための写真の撮り方の基礎) 講義・実習 4コマ
- ・作品集制作の心構え 講義・実習 2コマ
- ・SNSトラブルと著作権について 講義 2コマ
- ・デザイナーの仕事について 講義 1コマ
- ・日本の生活文化 (風呂敷) について 講義・実習 1コマ
- ・シューズデザイナーの仕事について 講義 1コマ
- ・職人の仕事について 講義 1コマ

## 評価方法・対象・比重

履修認定 (P表示)

評価基準: 学業姿勢・出欠状況を元に、履修認定の是非を決定する。

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

## 授業の特徴と担当教員紹介

皮革について、ビジュアルマーチャンダイジングについて、流行色解説、ファッショングッズデザイナーについて、作品集制作のためのカメラワーク、職人の仕事についてなど様々な業界で活躍する方々より、幅広い知識を得て視野を広げ同時に個々の目的とする職能を確認し位置づけさせる授業を実施

記載者書名欄 青木 克江

# 2019度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14301	科名 ファッショングッズ基礎科1年	単位 1単位
科目コード 930010	科目名 校外研修 I	授業期間 前期(集中)

担当教員(代表) : 青木 克江

共同担当者 :

## 教育目標・レベル設定など

都会生活から離れた「自然の中」における野外活動、体育活動ほか諸活動など団体生活の体験を通じ、指導力や協調の精神を養い、個人相互、クラス間の親睦を深めることを目的とする。

規律を強調がいかに人間関係に潤いを与えるかを知り、一人一人が規律正しい健康的な団体生活を送れるよう心がけ、相互理解を深める。

## 【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

コミュニケーションキャンプ 文化北竜館(2泊3日)

4クラス合同実施(服装科1年1組、ファッション流通高度専門士科1年、ファッションテキスタイル科1年)

- ・ 1日目
  - オリエンテーション
  - コミュニケーションプログラムB
- ・ 2日目
  - スコアオリエンテーリング
  - 野外炊飯
  - コミュニケーションプログラムA
  - 自由体育
  - キャンプファイヤー
- ・ 3日目
  - 世界の民俗人形博物館見学
  - 須坂版画美術館見学
  - 善光寺散策

## 評価方法・対象・比重

履修認定(P表示)

評価基準: 学業姿勢・出欠状況を元に、履修認定の是非を決定する。

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者書名欄 青木 克江